

令和2年度第1回栗原市総合教育会議会議録

1 招集日時 令和3年1月28日(水) 午後1時30分

2 招集場所 金成庁舎201会議室

3 出席構成員

| | |
|------|-------|
| 市長 | 千葉健司 |
| 教育長 | 佐藤新一 |
| 教育委員 | 笠間八十公 |
| 教育委員 | 蘇武徳行 |
| 教育委員 | 久我一仁 |
| 教育委員 | 千葉みどり |

4 説明等のため出席した者

| | |
|-------------|-------|
| 教育部長 | 白鳥嘉浩 |
| 教育部次長 | 鈴木学 |
| 教育部次長 | 古山明宏 |
| 教育総務課長 | 菅原光宏 |
| 学校教育課長 | 小野寺幸博 |
| 学校教育課副参事 | 高橋和宏 |
| 社会教育課長 | 佐々木英則 |
| 文化財保護課長 | 千葉長彦 |
| 教育研究センター副参事 | 遠藤俊哉 |
| 総務課長 | 國井浩 |
| 総務課秘書係長 | 蜂谷佑一 |
| 教育総務課長補佐 | 鹿野美穂 |

5 開会

午後1時30分

教育総務課長

定刻になりました。皆様、御起立願います。只今から、令和2年度第1回栗原市総合教育会議を開会いたします。よろしく願います。御着席ください。

6 あいさつ

教育総務課長

開会にあたり、栗原市長より御挨拶を申し上げます。

市長

教育委員の皆さまには、様々な分野でご協力をいただき、栗原市の教育発展に御尽力いただいておりますことに感謝を申し上げます。教育部の職員の皆さまには、昨年、様々な事業の準備をしていただいておりますが、新型コロナウイルス感染症の関係で、ほとんど実施されずにこのまま終わってしまいますことは、誠に残念なことであり

ますが、この経験則を活かして、来年度以降の教育行政の一端としていきたいと思っております。

そんな中で、1月10日に築館出身の立命館大学1年の大場陽成さんが、全日本学生ホッケー選手権大会において、1年生ながら全試合に先発出場し、正ゴールキーパーとして優勝の栄誉を勝ち取ったということで、1月5日に「輝く日本一くりはら大賞」を贈呈いたしました。更なる御躍進を祈念し、栗原市の出身の方の華々しい活躍を御期待しております。

また、まちづくりにおいては、1月4日付けで宝島社が出版している田舎暮らしの本において、「2021年版 住みたい田舎ベストランキング」が発表され、栗原市は、2年ぶりに東北エリア総合部門で、第1位となり、5年連続してベスト3ランクインを果たすという、嬉しい話題がありました。全国でも14位となっております。全国で第1位となっているのが、大分県の豊後高田市であります。まちづくりは、ここを目指しながら考案しているところです。その一端として栗駒の六日町商店街で実践をしておりますが、その六日町商店街かける100倍くらいの町が豊後高田市であり、その昭和のまちづくりに起案して、学力向上に対する市勢や若者定住など、良い面で様々な波及をしている街でありますので、ぜひ視察をしていただきたいと思います。

今年は、東北で1位を取り戻すべく頑張ってもらいたいと思います。

本日は、新型コロナウイルス感染防止対策とGIGAスクール構想など、来年度以降大変大事な要件でありますので、今日は、闊達な御意見をいただければ幸いです。よろしく願いいたします。

7 協 議

教育総務課長

会議の議長は、栗原市総合教育会議運営要綱第3条第1項の規定により、市長と定められております。

千葉市長、よろしく願いいたします。

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策について

市 長

本日の議題は、2件であります。

会議の進行に御協力をお願いするとともに、活発な意見交換をお願いいたします。

それでは、(1) 新型コロナウイルス感染防止対策について、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長

学校教育関係について御説明させていただきます。

学校一斉休業は、3月2日から24日まで全国の学校で一斉休業となっております。3月25日から4月7日までは学年末・学年始休業、4月8日から5月20日まで市内小中学校臨時休業といたしました。夏季休業の短縮については、学校一斉休業により登校日を臨時休業と

した日数27日間の遅れを取り戻すために夏休みを短縮し、8月8日から19日までの12日間とし、22日間短縮しております。卒業式・入学式の開催日は御覧のとおりとなっております。規模を縮小し、出席者は保護者のみの参加とし、来賓の出席は御遠慮いただきました。時間短縮の対応は、市長の祝辞は掲示等・歌唱の縮減とし、マスク着用等といたしました。運動会・学芸会・文化祭については、実施時期を変更し、運動会は、小学校、中学校とも10月に実施。学芸会は小学校は10月から2月に実施し、3校は中止しております。中学校は10月中に実施いたしました。規模縮小として保護者のみの参加とし、来賓の出席は御遠慮いただき、時間短縮のため、学年ごとの実施、6年生のみの発表といたしました。修学旅行は、小学校の行先は変更しておりません。自主研修の中止または規模縮小で実施しております。中学校は、行先を東京方面から近い場所の松島や一関に変更しております。3校が宿泊を伴う修学旅行を行わず、日帰りといたしました。スクールサポートスタッフは、小中学校19校中、18人を配置しました。若柳中学校は県事業で配置しておりますので、全学校に配置となっております。業務内容については、校舎の清掃や消毒作業など、記載のとおりとなっております。学校での感染防止対策は、換気や登校時の検温、健康状態の把握と手洗い、マスク着用、清掃消毒、大声を出さないなどの対応をしております。授業は、感染状況に応じ、室内で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏、近距離で活動する調理実習、体育での密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする活動、水泳を中止といたしました。部活動は、地域の感染状況に応じ、可能な限り感染症対策を行った上で取り組むこととし、主な対応として部室等は短時間の利用とし、一斉利用は避けるなどの対応をいたしました。学校教育関係は以上であります。

社会教育課長

社会教育関係について御説明させていただきます。

はじめに、(1)放課後児童クラブについてですが、市内小学校が臨時休業となりました昨年の3月2日から5月20日まで、1日開所を実施しております。その間、感染拡大防止の3密を回避するための対策といたしまして、児童の面倒を見ることができるご家庭では、利用を自粛していただくよう要請を行しました。また、4月22日からは、各小学校の先生方の支援をいただき、早朝から半日程度各学校施設で、その後、放課後児童クラブ施設に移動しての運用といたしました。学校再開後は、感染防止対策を講じた上で、通常開所としております。次に、(2)各種事業についてであります。事業の参加人数、会場、内容などから感染防止対策が十分であるか検討し、さらに市内の感染状況等を考慮して実施の可否判断を行っている状況にあり、結果として、多くの事業が実施できない状況にあります。次に(3)各施設の利用についてであります。感染拡大防止の観点から、昨年3月の市内小学校の臨時休業期間開始時

から全利用停止や一部利用者等の利用制限を行い、緊急事態宣言解除後の5月中旬から一部の施設で段階的に利用を再開し、6月1日からほぼ全施設で感染防止対策を講じたうえで、通常利用としたところがございます。現在も社会教育施設及び、社会体育施設、それぞれの感染防止対策を徹底するための施設利用上の遵守事項を定め、使用する方々に守っていただいた上での利用としております。なお、トレーニングルームについては、利用人数及び利用時間の制限を現在も継続しているところであり、社会教育関係につきましては以上であります。

文化財保護課長

文化財関係について、御説明いたします。

古文書解説講座は、10月3日、10日、17日の3日間実施しました。対応としては、受講者個人の体調管理確認を毎回、質問票を提出していただいております。参加者人数を例年の半数以下の20人に限定し、座席の間隔の確保を2倍の1席以上間隔を開けました。開催時間の短縮として、例年90分であったものを60分に短縮して、開催しました。以上です。

市長

説明が終わりました。委員の皆さんの御意見をお伺いいたします。いかがですか。

笠間委員

教室の換気は、常時窓を開けての対応ですか、授業中は窓を閉めて、休み時間に開けて換気しているのですか。

学校教育課長

休み時間に窓を開けて換気をしています。

笠間委員

マスクについて、不織布マスクやウレタンマスクの違いの使い方も学校で指導していただければよいと思います。

学校教育課長

学校でも、マスクの使い分けについて対応していきたいと思いますが、家庭での状況にもよりますので、各家庭の対応になると思います。

市長

テレビでは、マスクを使い分けしている事例がありました。外で運動するときは不織布マスクは危険ですし、室内で勉強する時は、密度高い不織布マスクを利用するなどの使い分けを推奨するような指導をお願いいたします。

久我委員

スクールサポートスタッフの業務は、教育委員会でマニュアルなどを作成し、各学校で同じ内容の業務を行なっているのですか。

学校教育課長

スクールサポートスタッフの業務は、校舎内の清掃や物品等の消毒、検温や換気、給食の運搬などしており、各学校同じ内容で作業しております。

千葉委員

蛇口から感染した事例がありましたが、小中学校の蛇口の自動水栓の設置状況はどうなっていますか。

教育総務課

蛇口の自動水栓は、全ての小中学校、幼稚園に設置しております。

千葉委員

足踏み式の消毒液は学校にありますか。

学校教育課長

小中学校は足踏み式の消毒液ではなく、手押し式のポンプタイプの消毒液です。

蘇武委員

県内の高校で感染が拡大していますが、部活動で感染しているよう

です。これからの栗原市の感染防止対策が問われると思いますので、しっかりと対応していただきたいと思います。

市 長

今は宮城県全体で感染が拡大しておりますが、吊革から感染しているのではないかとされています。栗原市のスクールバスは着座で運用しておりますし、学校の児童・生徒は給食も黙食で食べておりました。子どもはほとんどが問題なく、大人が持ち込んでいると思います。学校でも蓋の無いトイレがありますが、トイレでの感染も気を付けていただきたい。蓋のあるトイレは必ず蓋を閉めて水を流していただくなど、家庭内の感染防止対策もしっかりしていただきたいと思います。

教育長

子どもたちはしっかり感染防止対策がなされていますが、大人の感染防止が出来ていないように思います。蘇武委員の言うように部活動の対外試合で感染することがあるようで、県の教育委員会からも対外試合の自粛通知が来ておりますので、栗原市でも部活動やスポーツ少年団に対外試合の自粛を通知する予定です。

卒業式、入学式関係は、昨年と同様に規模を縮小して行うことになると思います。

市 長

東京も少し落ち着いてきましたが、若い人の感染が増えたのは、成人式が関係しているとの話もあります。栗原市は残念ながら成人式を延期しましたが、その判断は正しかったのではないかと思います。

蘇武委員

栗原市のワクチン接種はどのようになっていますか。

市 長

ワクチン接種については、2月下旬に医療関係者が県主体で実施します。市では現在6名を特別対策室に配属していますが、4月からは4名増加し10人体制でワクチン対策班を作り対応していきます。報道によると75歳以上の高齢者からの接種も4月になるなど、当初の予定より遅れているようです。一般の接種は6月頃になるのではないかと思います。まだ確定ではありませんが、栗原市では若柳と栗駒で接種をする予定と聞いております。病院が近くにあり、3密にならない広い場所で、駐車場があるところが候補になっているようです。

市 長

他にございますか。

新型コロナウイルス感染防止対策については、以上とさせていただきます。

(2) G I G Aスクール構想について

市 長

それでは、(2) G I G Aスクール構想について、事務局から説明をお願いします。

学校教育課長

G I G Aスクール構想について御説明します。

国では、児童生徒一人1台端末の整備を当初令和5年度までとしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に前倒しして整備することとされ、栗原市でも今年度に整備をしております。資料の4ページをお開きください。くりはらのG I G Aスクール構

想では、個別最適化された学びの実現のため、5つの目標と、目標を達成するため黄色でくくった7つの基本方針を掲げ実践してまいります。目標1は、学習場面で積極的にICTを活用できる児童生徒の育成。目標2は、学習場面でICTを効果的に活用できる教員の指導力向上。目標3は、校務における情報化の推進。目標4は、情報セキュリティの確保と運用。目標5は、ICTを活用するための支援体制。この5つを目標といたします。別冊の緑色の冊子を御覧ください。こちらは、構想実現のための推進計画(案)であります。9ページをお開き願います。今、お話ししました目標1から目標5と基本方針、それにそれぞれの取り組みを記載しております。12ページをお開き願います。12ページ以降が具体的な内容となっております。尚、詳細については、次の定例会で改めて説明いたしますので、本日は、省略させていただきます。次に、資料に戻っていただきまして、5ページを御覧ください。今年度を実施したGIGAスクール構想ネットワーク整備について御説明します。こちらの図面は、宮野小学校の例であります。凡例にあります、赤色の線が新設の配線で基幹となる配線であります。青色の線は枝線で、既存の配線を利用しております。赤色の丸は新設のアクセスポイントで、職員室や各教室に設置いたします。ネットワーク整備に係る事業費は、3億8,940万円となっております。6ページをお開き願います。学習用機器の購入と設定についてであります、購入するものは、iPadからデジタルペンシルまで4,497セット各教室に設置する機器としてプロジェクタからアップルTVまで、それぞれ209台、家庭学習用として通信環境が整っていない家庭への貸出し用の、モバイルルータ500台を購入いたします。そのほかに授業支援ソフトとセキュリティソフトの設定を行います。学習用端末等の事業費は、3億7,345万円となっております。資料の説明は以上で終わります。

次にこれらの機器を使って学校でどのような授業が行われるのか、実際にパソコンを使って説明いたします。

教育研究センター副参事

それでは、今回導入されますタブレット端末を活用した学びの本の一端ではありますが御紹介したいと思います。今日使用しますツールは、「G Suite for Education」といいます。これは、授業で使うことはもちろん、家庭学習や臨時休校など様々な場面での活用が期待され、先生と子どもたち、そして、家庭をつなぐコミュニケーションツールの一つです。「つながる」ということをキーワードにしていますので是非この言葉を念頭に体験していただきたいと思います。今日は、二つのツールを中心に体験していただきます。では、さっそく一つ目のツールに入ります。一つ目は「フォーム」というツールです。これは、小テストやアンケートを実施するツールで、結果をリアルタイムで可視化することができるというところに最大の特徴があります。例えば、総合的な学習の時間に「栗原市」についての学習をしたとします。授業時間の終

わりに、今日の学習がどれくらい子どもたちに定着しているのかを確認します。その際、このツールを使います。画面の「栗原検定」を御覧ください。皆さんは、本日栗原についての学習が終わった後と考えて、この問題に回答してみてください。チェックボックスをクリックしていき、送信を押してください。そうしますと、すぐに結果が反映され、右上に「スコア10／50点」となり、その下には正解か不正解化が表示されます。不正解の場合は、その回答に対するフィードバックがあり、問題に対する再確認ができるようになっています。また、先生側では、子どもたちの回答結果が集計された内容が表示されます。スクリーンを御覧ください。これまでは小テストを実施した後、回収し、○付けを行い、データを処理し、定着度合いを確認し、未定着であればプリントを作成し、配布し、確実に行わせるといった対応をしていました。そのため、子どもたちへのフィードバックが次の日になることが多かったように思われます。しかしこのツールでは、早ければその授業の中で確認ができるという利点があり、先生方の子どもたちへの対応が素早く行われるようになることが期待されます。このツールは、小テスト以外にもアンケートなどへも対応できるなど、今後幅広い活用が期待されています。次に、ジャムボードというツールについて説明いたします。このツールは、自分の意見をまとめたり、友達と一緒に問題を解決していったりするものです。特徴は、協働で活動するということです。イメージとしては、大きなホワイトボードをイメージしていただけるといいと思います。例えば、「おらほの方言」という課題を設定します。自分の知っている方言を付箋でペタペタと張っていく感じです。その後、この方言の意味についてみんなで話し合っていくといった感じになります。それでは、このボタンを押して付箋紙を書いてみてください。その後この言葉についての話し合いを行っていくようになります。これまで使っていたホワイトボードとの違いは、データとして蓄積されるということです。これまでは消して終わりでしたが、今後はどんな考えが出されたのかをデータとして蓄積していくことになります。最後に、Classroomになります。これは、今日説明してきたツールなどを一つの場所に集約しておくものであり、字のごとく教室です。ここには先生がいて、生徒がメンバーとして入ります。先生が課題を配布したり、連絡をしたり、子どもたちと意見交換をしていく場所です。先ほどまでのツールなどで得られた情報をまとめていくもので、個別最適化された学習のデータを収集したり、蓄積していくものとなります。今日は、Gsuite につきまして、様々なツールの一部を御紹介しました。このツールの活用の方法は、今後も様々な工夫がされていくものと考えております。ありがとうございました。

市長

実践を通して説明が終わりました。委員の皆さんの御意見をお伺いいたします。いかがですか。

- 笠間委員 1年生は、最初どのような入力の方法になりますか。
- 教育研究センター副参事 入力の方法は、段階的になりますが、今回購入した中にタッチペンがありますので、直接書き込むことができます。
- 笠間委員 性格が引っ込み思案で、なかなか発言できない子どもも楽しく学ぶことが出来て、参加できる喜びも味わえるので大変良いと思いました。タブレットの充電はどこでどのように行うのですか。
- 学校教育課長 学校の教室に鍵付きの充電キャビネットがありますので、そこで先生方が充電します。
- 蘇武委員 最終的には、くりはらの学力が向上しなければ意味がないことになると思います。学力の向上をどのように成果として見出すのですか。
- 古山次長 あくまでもパソコンは最適化を見出すツールとして活用することになります。最適化を見出すためにも基礎知識や基礎技能が必要になり、基礎知識をつけるための繰り返し学習のドリルとして活用するなど、活用の方法は段階ごとに違いますが、文部科学省でも全国学力テストを紙媒体ではなく、パソコンを活用することも始めていますので、評価されるテストそのものも変わってくるのかもしれませんが。
- 市長 家庭学習はどのようになるのですか。
- 学校教育課副参事 令和6年にデジタル教科書に移行されることやAIドリルとして、家庭に持ち帰ってもドリル学習ができるようになると思います。
- 教育長 自分のアカウントを入力することで、家庭でも活用することが出来るようになります。通信料等の問題があり、すぐには出来ませんが、最終的な目標は家庭でも活用できるようにすることです。
- 笠間委員 デジタルを活用した学習は良いのですが、通常の検診では見つからない隠れ近眼が子どもたちに増えていることが心配です。20分間使ったら20分間、目を休ませることなどの対策や指導も必要だと思います。
- 教育長 タブレットを使用するためのルールもありますので、そのルールを活用しながら子どもたちの健康管理もしっかり対応していきます。
- 久我委員 一人一台端末を準備していただいたことは大変ありがたいことだと思いますが、学府くりはらとして、いかに学力向上につなげていくかが重要ではないかと思っておりますので、先生方の指導方法やタブレットの活用方法を検討していただきたいと思っております。
- 市長 基礎学力は上がってきていますが、応用問題が弱いということなので、このような考え方の学習や解き方のレクチャーをして、子どもたちに教えていくスキルを身に着けることが必要だと思います。
- 千葉委員 実際に子どもたちがタブレットを活用し始めたときに、使い方が分からず授業に支障が出ないように、先生方も使い方をしっかり覚えて、子どもたちに教えていただきたいと思っております。
- 学校教育課長 先生方のタブレット研修会や学習研修会も行い、子どもたちがスムーズに使用できるようにします。

久我委員 家庭でのリモート授業などには活用できますか。
学校教育課 すぐにリモートで活用することは出来ませんが、4月から試験的に活用し、検証しながら使用できるようにしていきます。

市 長 図工や美術、音楽などの教科にはどのように活用するのですか。
教育研究センター副参事 実務系の授業については、体育の跳び箱の飛び方をタブレットで確認するなど、補助教材として活用していくこととなります。

市 長 他にありませんか。いろいろなご意見をいただきました。ご意見を参考にして、更に良い事業としていきたいと思えます。
本日の協議は、以上とさせていただいてよろしいでしょうか。
進行を事務局に返します。

8 その他
教育総務課長 4 その他 につきましては特に予定しているものはございません。

9 閉会
教育総務課長 本日は、長時間にわたり、貴重な御意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。
それでは、皆さま、御起立願います。以上をもちまして、「令和2年度第1回栗原市総合教育会議」を終了いたします。
お疲れ様でした。

午後2時33分